

## 令和5年度第3回伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン懇談会 結果概要

◆日時 令和5年10月11日(水) 19:00~19:45

◆会場 シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢 4階 大会議室

### ◆出席委員

筒井 琢磨委員、寺 和奈委員、亀谷 崇委員、田尻 優子委員、池山 敦委員、  
田中 真理子委員、谷 朋恵委員、河井 英利委員、藤原 寛仁委員、高橋 勝利委員、  
山本 久美委員、前田 敦子委員

### ◆欠席委員

原 幸久委員、世古 晃文委員、竹内 厚史委員、富内 伊佐雄委員、堀田 稔朗委員

### ◆出席職員

企画調整課長、同課副参事、同課係長、同課主査、同課職員、職員課長、広報広聴課長、市民交流課副参事、健康課副参事、健康福祉部参事兼福祉総合支援センター長、子育て応援課長、こども発達支援室長、商工労政課長、農林水産課長、観光誘客課長、観光振興課長、都市整備部都市計画課副参事、交通政策課長、教育委員会事務局参事兼社会教育課長、教育研究所長、スポーツ課長

### ◆議事概要

※以下の要録は、事務局により要旨を編集したものです。微妙なニュアンス等が表現されておられませんので、ご了承ください。

#### 1 第3次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン修正案について

(1) 資料1に基づき、第3次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン案について、前回の会議からの修正点について説明。

#### (2) 委員意見・質問

- ・インクルーシブスポーツの普及啓発による効果として、参加者数の目標はあるか。  
→10/15にインクルーシブスポーツフェスタを開催予定であり、企画運営にかかわる大学生が80人程度、参加申込数は190名程度である。具体的な目標数値はないが、今後、連携市町での実施等により、さらなる参加を狙っていく。
- ・教職員の充足状況については、どうか。  
→伊勢市においては、正規職員に加え、講師を配置し、充足している状況ではある。
- ・P14「伊勢志摩地域への旅客誘致」について、成果指標の伸びはどのようなことを勘案して設定しているか。  
→前回の式年遷宮の伸びを参考に、大阪関西万博等による効果を勘案し、見込んでいる。
- ・P24「伊勢地域周辺における交通渋滞の緩和」について、第2次ビジョンにおけるR5年度の目標値が20日であったことに対し、令和4年度の実績値が8日であること、コロナ禍前のR元年度においても14日であったことを見ると、パーク&バスライドの効果が表れているように感じる。
- ・P28「図書館サービスの更なる充実に向けた仕組みの構築」について、指標の算出方法は。  
→大紀町を除く圏域市町の7つの公共図書館において、自市町の住民は除く圏域住民に貸し

出した冊数の合計となっている。

- ・ P28 「図書館サービスの更なる充実に向けた仕組みの構築」について、新しい仕組みの構築とはどのようなことを指すのか。  
→電子図書館について、圏域全体でサービス展開できないか検討を行っていくことを指している。
- ・ P28 「図書館サービスの更なる充実に向けた仕組みの構築」について、大学においても電子書籍の導入を始めているところであり、圏域全体でも検討を進めていただければと感じる。
- ・ P17 「自転車を活用したまちづくり」の指標について、「自転車関連交通事故件数」が追加されたが、こういった取組を行っていくのか。  
→自転車乗車の際のヘルメット着用が努力義務化されたところでもあり、自転車の運転マナーの強化をしていければと考えている。